

# 代表質問を終えて

自民党県議団

まず冒頭、知事に、統一地方選に関して県議会の権威を貶めかねない憶測を事実の如く公衆の前で話された行為は公人として許されぬことを指摘し、その真意と政治姿勢を厳しく質しました。

次に、過剰な返礼品による「ふるさと納税」で多額の寄付を集め、新制度の適用を除外された県内自治体への県の指導のあり方や積極予算とされる当初予算の内実等について責任ある答弁を求め、他県より職員の手配や宿泊税を財源とする観光振興施策の方針を質し、知事が鉄道での復旧を前提に協議し、政治生命を賭して実現を図るとされた日田彦山線の復旧問題の全面解決に向けた所信表明を求めました。

また、当会派の要請で全国に先駆け始まった高収益型園芸事業の予算額が事業者の要望に十分対応できるのか知事に質したところ、知事は、営農に支障を生じさせないよう対応すると答弁され、当会派が求める筑豊・筑後地区の定時制単位数制高校の開校や学校給食費の公会計化等について教育長答弁がありました。

民主県政県議団

令和元年度一般会計予算では、性暴力対策・骨髄ドナー助成・長期入院の高校生学習支援・高校のICT活用など、会派で提案してきた事業に予算措置された事を評価しながらも、臨時財政対策債残高が1兆3,001億円に上ることを明らかにし、今後の財政課題であることを指摘しました。

九州北部豪雨への支援では、仮設住宅の入居期限が迫る中、未だに生活の見通しがたない被災者がいること、JR日田彦山線の鉄道での復旧を多くの県民が望んでいることなどから、被災者に寄り添った県の姿勢を強く要望しました。

また、内閣府が初めて40歳〜64歳の引きこもり状態の人が全国に61・3万人いると発表し、県は15歳〜64歳までの該当者が推計で約4万人いることを明らかにしました。しかし、県所管のひきこもり地域支援センターは1カ所しかなく、人員や施設などの相談体制強化を図るよう提案しました。

児童虐待については、小・中学校での実態調査の結果、虐待の恐れがある児童生徒数が231人に上ることが明らかとなり、児童相談所・県警・県教委の更なる連携強化を要望しました。

その他、園児巻き込み事故を受けて、県は緊急安全点検を実施し、その結果をもとに必要な対策を講じるという方針を示しました。

公明党

平成最後の統一地方選を終え、令和元年最初の定例会である6月議会において、公明党は、多くの県民の皆様より戴いた要望、課題、提案について、パイプ役として質問しました。

まず、小川県政の3期目の課題と挑戦について、知事の考え方を質しました。知事は、「まず第一に、一事の考え方を質しました。知事は、「まず第一に、一事の考え方を質しました。知事は、「まず第一に、一事の考え方を質しました。知事は、「まず第一に、一事の考え方を質しました。」と答弁されました。

また、コミュニティバスの広域運行について、「令和3年度末までに、目標とする40路線への拡大に向け、今後とも、路線バスが休止となる地域における買い物や通院といった生活実態を踏まえ、コミュニティバスの広域運行をはじめとする移動手段の確保を進める」と、市町村における子育て世代包括支援センターの設置については、「令和2年度末までには、県内全ての市町村で設置予定だが、早期に設置するよう、未設置の市町村に働きかける」と答弁されました。

その他、イノシシ被害対策や空き家対策、学校での食物アレルギー対策、高齢者ドライバー対策、そして下関北九州道路の実現に向けた県の取り組みなどを質しました。

緑友会

今回の代表質問では特に、JR日田彦山線の復旧問題で、JR九州に対する知事の政治姿勢を質しました。知事は「職を賭す、政治生命をかける、そうした覚悟で取り組んでいく」と昨年の県議会でも答弁されました。

知事は、3月15日の日田彦山線復旧会議において、「JR九州としての交通ネットワーク維持の考え方を示すこと」を要請しています。その要請を受けて、JR九州から鉄道、BRT、バスによる3案が提示されました。知事の発言は、極めて不適切であり、誠に遺憾であります。通勤、通学、通院、買い物などで日田彦山線を利用していた被災で影響を受けた沿線の人々の気持ちをないがしろにするものであります。この問題は、沿線住民・自治体だけの問題ではなく、九州各県のJRローカル線に関わる重要な問題と我が会派は考えております。

また、福岡県の園芸農業の振興発展を牽引している高収益型園芸事業は、自民党県議団も代表質問で質問されておりましたが、改めて、積み残し分について対応するかを質しましたが、知事からは「補正予算で対応することも、検討したい」との答弁でした。我が会派は、引き続き実効性ある農業振興に取り組みんで参ります。

## 提出された議案

令和元年6月定例会では議案44件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

- 予算議案 20件
  - ・令和元年度福岡県一般会計予算 など
- 条例議案 12件
  - ・福岡県宿泊税条例の制定について
  - ・福岡県宿泊税基金条例の制定について
  - ・不正競争防止法等の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
  - ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
  - ・福岡県会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の制定について
  - ・福岡県立公文書館条例等の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県税条例等の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県子育て応援基金条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県森林環境譲与税基金条例の制定について
  - ・福岡県屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
- 専決処分したものについて報告し承認を求める議案 3件
  - ・福岡県税条例等の一部を改正する条例の制定について など
- 契約の締結に関する議案 2件
- 経費負担に関する議案 3件
  - ・空港整備事業の経費の負担について など
- 人事に関する議案 3件
  - ・副知事の選任について など
- 委員会提出議案 1件
  - ・福岡県議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

## 可決された意見書・決議、採択された請願

- 可決された意見書**
  - 農林水産物及び食品の更なる輸出拡大を求める意見書
  - 地方財政の充実・強化を求める意見書
  - 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
  - キャッシュレス社会の実現を求める意見書
  - 私学助成の拡充に関する意見書
- 可決された決議**
  - 空港・交通等調査特別委員会設置に関する決議
  - 子育て支援・人材育成調査特別委員会設置に関する決議
  - 環境保全・再生可能エネルギー等調査特別委員会設置に関する決議
  - 国際化・多文化共生社会調査特別委員会設置に関する決議
  - 広域・先端行政調査特別委員会設置に関する決議
  - スポーツ立県調査特別委員会設置に関する決議
- 採択された請願**
  - 私立小・中・高等学校への助成金制度の拡充等に関する請願